

# 京葉線・りんかい線相互直通運転推進へ向けて 超党派議員連盟結成



6月議会  
一般質問報告

▲京葉線・りんかい線の相互直通運転を目指す議員連盟設立総会にて  
(東京新聞提供)

京葉線・りんかい線相互直通運転実現に向けて、千葉県議会に新たな動きがありました。直通実現を目指す議員が、党派を超えてともに活動する議員連盟の発足です。もちろん私もそのメンバーのひとり。今後、実現に向けた調査研究や国や関係団体への要望を行います。

房総の海から、幕張、浦安を経て、東京五輪会場となる東京都臨海部へ。更に、品川、恵比寿、渋谷新宿など主要駅を経由して、大宮、川越までが一本につながる効果は絶大です。沿線住民の利便性向上、都市間交流の促進、国内外の観光振興、経済活性化など、広域な利益が見込まれます。実現に向け粘り強く活動してまいります。

6月議会では、一般質問に登壇し、京葉線・りんかい線の直通をはじめ、浦安に関する県政課題を中心に議論しました。以下抜粋でご報告します。

## ◆鉄道行政について

### 京葉線・りんかい線 直通実現に県の熱意を

相互直通運転の実現には2つの課題があり、そのひとつが、京葉線内の輸送力です。東京行きを減便しないと、直通電車を走らせるのが難しく、複々線化が検討されています。概算で1100億円の費用がかかる見込みですが、県は「JRに要望している」のみ。県や沿線自治体で少しずつでも費用を負担をする、国の支援を得るなど、実現に向けた熱意ある行動を要望しました。

## 東葉高速鉄道の 自立に向けて

一期目から取り組んでいるテーマです。まず昨年度の決算状況を確認。25億5800万円純益で8期連続で黒字であるものの、未だ2600億円の借金を抱え厳しい状況とのこと。昨年3月で、自立支援計画が終了しており、今後の支援策を早急に示すよう求めました。

## ◆マンション施策について

### 高齢化・老朽化する マンション施策の拡充

区分所有者の高齢化、建物の老朽化をはじめ、様々な課題を抱える分譲マンション。東京都では、こうし

# 県議会報告



【Profile】町立見明川小、市立見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、富士(現みずほ)銀行に入社(16年勤務)。2007年4月千葉県議会に出馬し初当選。2011年5月再選、2015年4月3選を果たす。総合企画水道常任委員会所属  
<http://www.yazaki-kentaro.jp>

## ◆災害救助犬について

### 救助犬育成・普及を 防災施策のひとつに

災害時に倒壊家屋や土砂等に埋もれた人を嗅覚で探し出す災害救助犬。浦安では、NPO法人日本救助犬協会の方々が救助犬の育成に取り組んでいます。こうした団体に対する県の支援について質問。「防災訓練に加え、様々なイベントなどで県民の理解促進を図ること、県のWEBサイトなども活用し普及啓発の促進を要望しました。」

## ◆動物愛護について

### 殺処分0を目指せ

2009年から取り組んでいる課題です。全国ワースト1、2位を争う犬猫殺処分数だった千葉県。その後の取り組みで処分数を減らし、昨年も前年比61%程度に減少したこと。殺処分0を目指し、有効な取り組みの継続を求めました。

## ◆子ども食堂について

### 指針と支援、そして 抜本的な対策を

欠食や孤食をしている子どもにも、食事を提供している「子ども食堂」です。千葉県にも62箇所の食堂が開かれています。指針の必要性や支援について提言。また子どもたちの孤立の実態把握を要望しました。

## ◆浦安市内の護岸について

### 浦安の水辺開放と 護岸整備の推進

県の動きの影響を受け、進展しない浦安の水辺。以下4点について県の計画を確認、早急な整備を強く要望しました。

- ①旧江戸川における護岸の整備状況と今年度の整備予定
- ②浦安海岸舞浜地先における護岸の整備状況と今年度の整備予定
- ③明海護岸の開放に向けた検討状況
- ④入船地先及びひの日の出地先における護岸の老朽化対策の見直し

①と②については、少しずつ進展していることを確認。しかし、③④については、未だ検討段階にあります。具体的な期限を決めて、前に進めるよう引き続き働きかけてまいります。



**総会口企画水道常任委員会**  
 常任委員会での質疑を、直近の6月議会からさかのぼって、テーマごとにとまとめてご報告します。

**京葉線複々線化用地売却を正す**

表面でも報告したとおり、京葉線・りんかい線の相互直通運転の実現のため、県はJRに京葉線の複々線化を要望しています。しかし、その一方で、浦安市内の複々線化用地を民間企業に売却していることが判明しました。

一時的に貸すならまだしも、複々線化に必要な土地を売ってしまうという矛盾に、問題を感じないのかとその意図を正しました。

当局は、「長年の計画の中で具体化しない中、保有資産をどうしていくか考える必要がある」とのこと。全く理解できません。保有土地の有効利用を優先するなら、複々線化を求める計画自体を見直してからにすべきです。今後こういうことが起きないように、厳しく求めました。

**東葉高速鉄道の経営体質改善を要望**

県職員が慣習的に経営トップに天下っている東葉高速鉄道。10年続いた集中支援計画が昨年3月で終わり、長期収支計画に基づき、新たな支援が決まるはずでした。

しかし、収支計画が大幅に遅れ、提出されたのは昨年末。それを受けて、自立支援を検討している委員会は、いまだに支援の内容をまとめられていません。

12月の議会にもそれを指摘し「加速化したい」「スピードアップする」という答弁があったものの、更に半

年が過ぎていきます。最大株主である県とそこから下る社長という関係の甘さが、こうした問題を引き起こしていると考えています。

**千葉の水質向上に「水質検査体験制度」**

水質検査体験制度は、水道水を利用しての利用者自身が、提供された簡易検査キットを用いて、自宅の水道水の水質検査を行うもの。検査結果は、インターネットを介して水道局に報告され、広範囲なデータ収集が可能となります。また、利用者自身の水道水への理解促進、評価向上などにも役立つようです。

今年、300名程度の募集枠がすでにいっぱいになっているとの

◆矢崎コラム・真剣勝負

こと。こうした取り組みを継続して行い、水質改善に役立てていくよう要望しました。

**督促状の誤発送をサービス改善の契機に**

今年1月、水道使用者のうち2千人余りに、水道料金を正しく支払っているにも関わらず、督促状を送付するという誤発送が起きました。原因は、収納代行業務委託先のシステム障害により、支払いデータの一部が当局に送信されなかったというもの。それについての経緯や、二重払いをした使用者への対応などについて確認しました。

大きなトラブルに発展したことはなかったことですが、誤発送は信用に関わる問題ですので、これを契機に再発防止に向けた業務改善を行うよう提言しました。

**増加・長期化・多様化に柔軟な取り組み 不登校者支援と学びの場の確保を**

全国的に増加している不登校の子どもたち。千葉県でも、公立小中学校合計で8305人（2016年度）が不登校となっており、過去10年間で2番目に多い状況。90日以上欠席している人数は3600人と長期化する傾向にあります。不登校の原因は、いじめやネグレクトなどに加え、SNS関連、教員の対応、意欲の低下など、多様化してきています。

こうした状況を受け、県教育委員会が取り組みを強化しています。解決が困難な状況に対応する「不登校対策支援チーム」を発足した他、防止策や初期対応策などをまとめた「不登校対策資料集」を全小中高校に配布しました。県議会では、「フリースクール等教育機会確保保護員連盟」を超党派で結成、フリースクール等を通じた教育機会の提供を推進することになり、私もメンバーの一人となりました。



県政に  
 あなたの声を  
 県政相談受付

矢崎けんたろう事務所 〒279-0022 浦安市今川 4-2-1

Web <http://yazaki-kentaro.jp>  
 Mail [info@yazaki-kentaro.jp](mailto:info@yazaki-kentaro.jp)  
 Tel 047-720-0929  
 Fax 047-720-0939



アドレスや電話番号読み込み